

IV 便利な「都」をつくる 12 道路整備

(78) 用地買収・用地補償の円滑な進め方の検討

これまでは

奈良県の地域振興の最大の障壁は全国にとどろく用地買収の困難性です。

京奈和自動車道をはじめとする重要道路の用地買収の**プロセス・レポート**を作成してきました。(橿原北IC～橿原高田IC間の未買収地、当初 104件、現在(R2,1月末) 26件)

・公共用地は鑑定価格以上では絶対買えません。

耕作放棄地には重課制度の適用ができます。(通常の農地固定資産税の1.8倍の重課)

・農業委員会が当該放棄地を中間管理機構に対し貸付(農地として再活用)を協議すべき旨の勧告をした際に重課が適用

用地買収難航の理由は、ほとんどが高額要求であり、**奈良県は用地買収が全国一難しい地域**と言われているのを改善する必要があります。



もっと良くするために

道路の新規事業化にあたって、「**用地買収の難易度**」を優先度判定の重要項目にします。

・新規事業化にあたっては、「必要性の調査」と「優先度の判定」を行います。

補償金算定にあたっては、高額案件を中心に「**損失補償の考え方**」と「**補償内容の妥当性**」について、**有識者に判断**してもらいます。

・弁護士・不動産鑑定士・一級建築士(補償業務管理士)からなる「有識者委員会」を設置しました。

主要プロジェクトについて、進捗度にあわせて完成目標を明確にし、**土地収用法に基づく事業認定手続きを標準化**、明確化し、必要に応じその適用を行います。

令和2年度予算案 1百万円

R2予算案 785千円

道路事業の用地買収・用地補償を円滑に進められるよう、新規事業化から用地買収までのプロセスと、任意交渉での用地取得が困難な場合の対応を明確化

○新規事業化における評価基準の充実と評価実施プロセスの徹底

必要性の調査

- 県土形成、地域振興等の目的に対する行政機関の取組状況や道路整備による目的貢献度を確認し、道路整備の必要性を調査

優先度の判定

○道路

- ・**用地買収の難易度の判断**
- ・市町村によるまちづくり等の関連事業の実現可能性の判断
- ・財政状況の判断
- ・事業手法の判断

新規事業化

○補償金算定の適正性の確保

高額案件等を対象に、**公共用地の損失補償に関する考え方や補償内容の妥当性について、有識者から意見を聴取**

【有識者】弁護士、不動産鑑定士、一級建築士(補償業務管理士)

○事業認定手続きを標準化

主要プロジェクトの完成目標にあわせた事業箇所について、土地収用法に基づく事業認定手続きを標準化し、計画的な用地取得を推進

<問い合わせ先>

県土マネジメント部

用地対策課 中村課長補佐(内線4252)

IV 便利な「都」をつくる 13 鉄道整備 (79) 近鉄西大寺駅の高架化

これまでは

平成29年1月西側4踏切が踏切道改良促進法「改良すべき踏切道」に指定されました。

①県・市・近鉄の3者で、大和西大寺駅周辺の踏切道改良計画素案に関する検討をしており、令和元年10月までに計7回の協議を開催。



②近鉄は平成30年11月、県、市との協議に「西大寺駅高架化の案」を提出されました。

○令和2年度中に鉄道事業者(近鉄)及び道路管理者(県及び奈良市)は国土交通大臣に「踏切道の改良に関する計画」を提出しなければなりません。

もっと良くするために

近畿地方整備局も含めた「地方踏切道改良協議会 合同会議」を開催し、高架化の具体案について結論を得、R3・3月までに国交大臣に「地方踏切道改良計画」を提出します。



高架化のイメージ (※国土交通省HPより)

○現駅の構造上の問題点の整理、西大寺で必要な機能の内容、自由通路の存置方法等について検討します。

○県庁内県土マネジメント部に「まちづくりプロジェクト推進課」を設置します。

令和2年度予算案 31百万円

(80)と一括

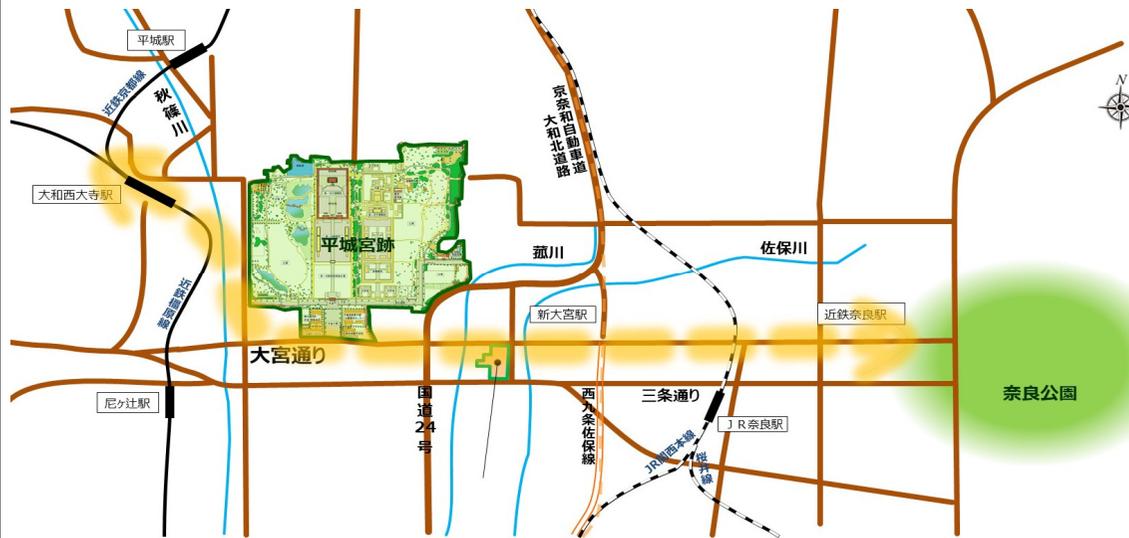
R2予算案 31,000千円

<現状>

- 平成29年4月に、県、奈良市、鉄道事業者で協定を締結し、
 - ① 大和西大寺駅周辺の鉄道と道路との立体交差化に関する事
 - ② 平城宮跡からの近鉄奈良線の移設案に関する事
 等について三者で検討中

<R2年度の取組>

- 「地方踏切道改良協議会 合同会議」の開催(予定)
- 踏切道改良方法の検討
- 地方踏切道改良計画の策定(R3年3月、国土交通大臣に提出予定)
- 平城宮跡周辺地域の渋滞対策を推進するため、県土マネジメント部に「まちづくりプロジェクト推進課」を設置



平城宮跡からの近鉄線の移設(県イメージ)

この案は今後検討を進める上でのひとつのたたき台として検討しているものです。

- 鉄道の移設先については、道路交通の処理や河川との交差、また地下水や景観上の課題など多くの課題が存在し、今後、更に検討を深める必要があります。
- 今後、方針を決定するにあたっては、鉄道事業者との協議・合意はもちろんのこと、奈良市や関係機関との調整が必要となります。また、地元や県民の皆様、有識者の方など多くの方のご意見を伺う機会も必要と考えております。

<問い合わせ先>

まちづくり推進局 地域デザイン推進課 松並主幹(内線4324)

IV 便利な「都」をつくる 13 鉄道整備 (80) 近鉄奈良線の移設

これまでは

平成30年1月、近鉄西大寺駅東側4踏切について、踏切道改良促進法「改良すべき踏切道」に指定されました。



連携協定に基づく3者(近鉄・奈良県・奈良市)による協議を行い、平城宮跡周辺の渋滞対策として4カ所の踏切対策の協議を進めてきました。(これまで計7回の協議)

近鉄は移設反対、県・市は移設賛成です。

もっと良くするために

令和2年度中に近鉄、県、奈良市は「踏切道の改良に関する計画」を国土交通大臣に提出しなければなりません。近畿地方整備局も含めた「**地方踏切道改良協議会 合同会議**」を開催、協議を進めます。



平城宮跡からの近鉄線の移設(県イメージ)

県は、平城宮跡から近鉄奈良線の線路を移設し踏切をなくす対策を提案し、近鉄は、線路は移設せず現状のままとし、踏切ごとの対策を提案しています。
協議が整わなければ、国土交通大臣の裁定となります。

令和2年度予算案 31百万円

(79)と一括

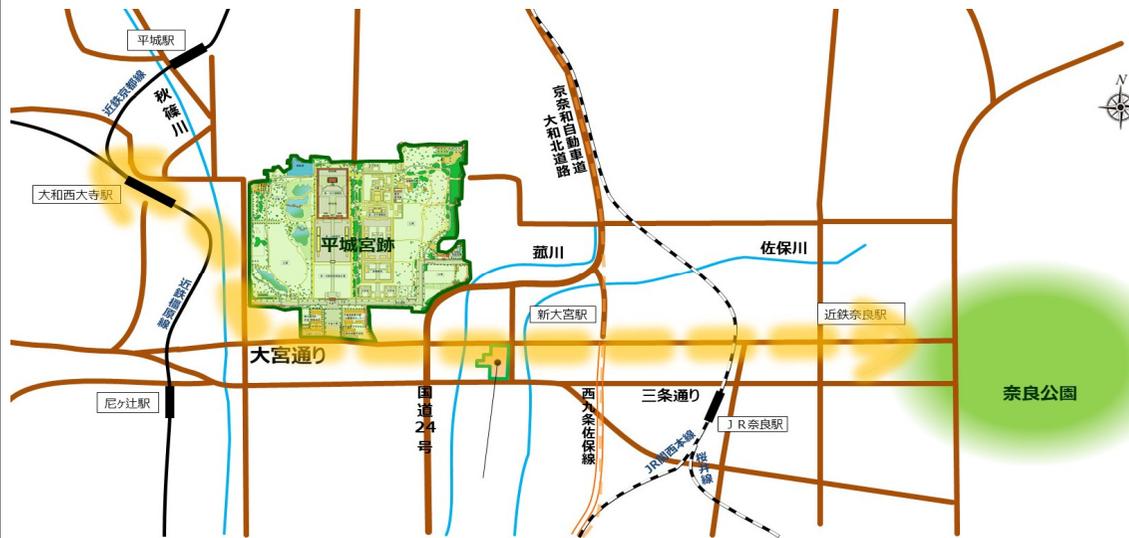
R2予算案 31,000千円

<現状>

- 平成29年4月に、県、奈良市、鉄道事業者で協定を締結し、
 - ① 大和西大寺駅周辺の鉄道と道路との立体交差化に関すること
 - ② 平城宮跡からの近鉄奈良線の移設案に関すること
 等について三者で検討中

<R2年度の取組>

- 「**地方踏切道改良協議会 合同会議**」の開催(予定)
- **踏切道改良方法の検討**
- **地方踏切道改良計画の策定(R3年3月、国土交通大臣に提出予定)**
- 平城宮跡周辺地域の渋滞対策を推進するため、県土マネジメント部に「まちづくりプロジェクト推進課」を設置



平城宮跡からの近鉄線の移設(県イメージ)

この案は今後検討を進める上でのひとつのたたき台として検討しているものです。

- 鉄道の移設先については、道路交通の処理や河川との交差、また地下水や景観上の課題など多くの課題が存在し、今後、更に検討を深める必要があります。
- 今後、方針を決定するにあたっては、鉄道事業者との協議・合意はもちろんのこと、奈良市や関係機関との調整が必要となります。また、地元や県民の皆様、有識者の方など多くの方のご意見を伺う機会も必要と考えております。

<問い合わせ先>

まちづくり推進局 地域デザイン推進課 松並主幹(内線4324)

IV 便利な「都」をつくる 13 鉄道整備 (81) 鉄道駅バリアフリー化の促進

これまでは

バリアフリーの全国値は平成30年度末時点で90.4%であり、本県の進捗は遅れています。

3,000人以上の乗降客のある鉄道駅のバリアフリー化について、鉄道事業者を支援しています。

平成30年度末の進捗状況は、県内対象駅全62駅中48駅について段差解消が行われ、77.4%の進捗率となっています。

【バリアフリー化がされていない駅】

・近鉄13駅 ・JR 1駅

近鉄真菅駅のバリアフリー化(橿原市)



R2予算案 26,257千円

○ 鉄道駅における段差解消等のバリアフリー整備を行う鉄道事業者に補助

<R2年度補助対象箇所(予定)>

	JR		近鉄			
	香芝駅	平城駅	南生駒駅	一分駅	結崎駅	耳成駅
エレベーター等	設計	設計	—	—	—	—
内方線付点状ブロック	—	工事	工事	工事	工事	工事

もっと良くするために

鉄道駅における段差解消等のバリアフリー整備を行う鉄道事業者に補助します。

<令和2年度補助対象箇所(予定)>

	JR		近鉄			
	香芝駅	平城駅	南生駒駅	一分駅	結崎駅	耳成駅
エレベーター等	設計	設計	—	—	—	—
内方線付点状ブロック	—	工事	工事	工事	工事	工事



【内方線付点状ブロック】
ホーム内側部分に線状突起を設けてホームの内外が分かるようにした点状ブロック

近鉄奈良駅など国の施設基準を満たさない駅、耳成駅などホームまでの経路の段差が未解消の駅が残っています。

令和2年度予算案 26百万円

エレベーター設置

<整備前>



<整備後>

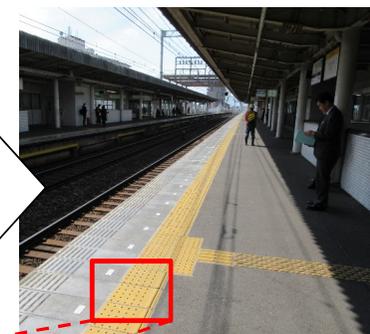


内方線付点状ブロック設置

<整備前>



<整備後>



【内方線付点状ブロック】
ホーム内側部分に線状突起を設けてホームの内外が分かるようにした点状ブロック

<問い合わせ先>

県土マネジメント部 地域交通課 人見課長補佐(内線4164)

IV 便利な「都」をつくる 13 鉄道整備 (82) リニア中央新幹線「奈良市附近」駅の早期確定

これまでは

まちづくりの具体的な検討や、結節性を確保するための計画的な整備を進めるためには、駅位置とルート^①の早期確定が必要
「三重・奈良・大阪ルート」を前提として、奈良県、三重県、大阪府が早期確定の要望活動等を実施



リニア中央新幹線ルート概念図

R2予算案 25,000千円

- リニア中央新幹線の想定ルートに関する調査・検討
 - 「奈良市附近」駅の候補地として3市が提案している5箇所をそれぞれ経由するルートを想定ルートとし、将来の着工の判断に資する項目について調査・検討を実施
- 「奈良市附近」駅と関西国際空港を直結するリニア新幹線に関する調査・検討
 - 関西国際空港・リニア中央新幹線接続新幹線構想について調査・検討を実施

もっと良くするために

2037年の全線開業に向け、JR東海が駅・ルートの公表に向けた準備をできるだけ速やかに進められるよう、**誠実な信頼関係に基づく実質的な協力、連携**をJR東海と進めます。

- 「奈良市附近」駅の候補地として3市が提案している5箇所をそれぞれ経由するルートを想定ルートとし、将来の着工の判断に資する項目について調査・検討を実施(25百万円)
- 「奈良市附近」駅の早期確定をめざし、JR東海と協議します。
- 奈良県が協力すべきポイントは、①沿線5キロごとにつくる立坑や駅等の土地の取得、②排出土砂の処分、③周辺環境の整備、住民の方のご理解です。
- 県庁内県土マネジメント部に「リニア推進・地域交通対策課」を設置します。

令和2年度予算案 25百万円

「奈良市附近」駅の候補地として3市が提案している箇所

提案箇所	
奈良市	JR新駅周辺候補地(八条・大安寺地区周辺)
	郊外型候補地(JR平城山駅周辺)
	市街地型候補地(JR奈良駅及び近鉄奈良駅周辺)
大和郡山市	JR大和路線と近鉄橿原線が交差する場所
生駒市	関西文化学術研究都市高山地区第2工区

- リニア中央新幹線「奈良市附近」駅の早期確定を推進するため、県土マネジメント部に「リニア推進・地域交通対策課」を設置

<問い合わせ先>

県土マネジメント部 地域交通課 人見課長補佐(内線4164)